

イベント感想文

メルボルン大学留学生：前坂龍太郎

参加者：8名

今回のイベントのきっかけ

先月メルボルンに留学してきたばかりの、日本人学生のKくんから「ビジネスに興味がある。そのためにも、オーストラリアで働いている人から、オーストラリア、メルボルンの社会について、そして、キャリアについていろんな人から話を聞いてみたい」という相談を受けた。いろんな人からお話を聞くためには商工会議所が良いのではと私は考え、伊豆原様にご相談をさせていただいた。そこから、キャリアや海外就職についてのディスカッションをする場をセッティングしてみたいと考え、実施することとなった。

現在私の周りには日本人の友人たちはこれから就職活動を迎える人たちが多くという現状があったので、彼らにとっても大きな助けになると考えた。また、今回の講演会を通じて、どのような進展が生まれるか期待を膨らませながら当日を迎えた。

伊豆原さんの講演についての感想

今回の感想で一番印象に残ったのは、伊豆原さんが自分自身の視点だけではなく、家族のことを考えて、国選びをし、現在の仕事に取り組んでいるということであった。

伊豆原さんはシンガポールとオーストラリアで仕事の経験がある。シンガポールは独り身で仕事するには、非常に国際的なプレゼンスが高く、英語が公用語の魅力的な都市と考えていた。しかしながら、現実としては、子供の教育面を充実させることの難しさがあることがわかった。その一方で、オーストラリアではWorking visaでも子供の教育を充実させやすいという特徴があるということがあった。今までは、自分独り身で出ることを前提に海外に出て、仕事をしてみたいと考えていた。しかし、自分の置かれている状況が変わると、仕事をしやすい国から、仕事をするのには難しい国として状況が変わることがわかった。だからこそ、自分が海外で仕事をするときには、自分が今置かれている状況、特性をしっかりと把握した上で移住の決断をすることが求められることがわかった。

また、交換留学生として現在留学に来ていることの価値は何かについても気付かされることが多かった。伊豆原さんは同じ職場の人と話すときや、他のクライアントと会話するとき、ものすごく流暢な英語で商談を行っている。これをみていると、自分自身はもっと、英

語力をあげないといけないと考えていた。しかし、伊豆原さんは、自分自身は、ビジネス英語は得意だけど、それ以外のスモールトークなどは苦手という話をされていた。その話を聞いて、もっと、いろんな人と会話して、いろんなテーマについて話を聞いたり、ディスカッションをして自分の意見を伝える経験ををもっと積む必要があると感じた。そうすることで、自分が英語でできる会話の「幅」を広げて、その中でいろんな表現を使って、自分の意思を伝えられる「深さ」を生み出せるようにこれからの留学生生活を過ごしたいと感じた。

それ以外にも、社会人になったときにどのような考えを持って行動するべきかについても非常に勉強になった。特に50点、60点でもいいからまずは自分の考えを主張することが大事だという話が非常に印象的であった。その理由としては、自分は現在インターンシップに取り組んでいるが、まだまだ、主張する力が足りないと感じているからだ。できるだけ積極的に行動しているつもりでも、他のメンバーと比べたら自分は主張が控えめだ。それは自分の発言が間違っていないかな？という不安を感じているからこそだった。自分の発言と行動に責任を持つことを前提とし、間違ってもいいから、自分の意図と意見をもっと発信していかないといけないなと改めて考えさせられた。

今回のイベントでは、自分は主催者側として、セッティングをし、リスナーとしても参加させてもらった。主催者側の立場としては、非常に良い機会となったと感じている。他に参加してくれた学生の様子をみても、非常に積極的に質問をしている様子が見られた。また、講演終了後にも、「まずは自分が何をしたいのが考えることが大事だね」と話している参加者があり、今回のイベントを契機に、自分自身を振り返る良いきっかけとなったことが窺える。今後はテーマをより絞って、スピーカーと学生との間で相互的なコミュニケーションをすることで、より良いワークショップとしていきたい。

参加者の感想

オーストラリアに位置している会社で、マネージメントをしている立場の方から話を聞いたのは貴重に感じた。

一番印象に残っているのは、正解のない課題に取り組むときにdiversityで働くのは必須だという話である。自分も同じ大学の人間ばかりの学生団体にNPOにコンサルした経験があって、そこで現場の課題感を全く共有できていなかったという反省があるのでともすれば陥りがちな同質性の罠に気をつけたいと思った。

伊豆原さんの経歴や多様性に対する価値観、日本と海外での教育方針の違いなどのお話が興味深く感じました。

海外駐在以外で海外で働かれている方からお話を伺うのは初めてだったので、伊豆原さんのようなキャリアもあり得るのだと知れて、勉強になりました。

さまざまな国で働いたことのある経験が、仕事への姿勢にどのように生きるのか、そして仕事や生活が変化する場面における判断基準や、その根拠、根底にある自身の思想などを考えることが大事であるということを知ることができた。

